

自動車保険だより

2016.8 Vol.2



■撮影者:都教組自動車保険加入者 川原 泰寛様

■撮影場所:長崎県平戸市飯良 名もなき棚田

日本棚田百選のうち47箇所が九州にある。ここ平戸島の西海岸を走る県道19号沿いは、百選には入っていないが、魅力ある棚田の宝庫だ。

この写真をWebで公開してしばらくたったある日、掲示板に実家がこの棚田の所有者という方から「こんなにきれいに撮っていただきありがとうございます」の文字。

私にとってここが九州一の棚田になった瞬間だった。

ごあいさし



桜保険事務所
社長 中村 尚之

熊本震災の被害に遭われた方々と
そのご家族の方々に心よりお見舞い
申し上げます。

震災直後に、熊本や大分在住の
ご契約者に連絡を取りました。
繰り返される地震のなかで、不安な
毎日を送っていらっしゃることに
心が痛みました。

共済や保険は、災害や事故に遭わ
れた時に金銭的な補償で支えるとい
う社会的な性格を持っています。

私たち桜保険は、万一の時に保険
金をお支払するだけではなく、
ご契約者の不安な思いを受け止めて
対応することを心がけて、今後も
いざという時に役立ち頼りになる
存在であり続けたいと思っています。

加入者を たずねて

新企画

加入者を訪ねて

そのお仕事や暮らしを

直接にお聞きしながら保険や共済の役割についても考ええる企画です。

今回は、伊豆大島に伺いました。

前都教組委員長で、新しく発足した

「共済加入サポーターの会」の会長である

工藤芳弘さんにも同行していただきました。

高速ジェットで二時間四十五分

梅雨時期の六月下旬、竹

芝栈橋から高速ジェット船

で一時間四十五分、雨の岡

田港に着きました。天候が

悪いのにも関わらずほとん

ど揺れない船に驚きました。

ホテルのある元町まで移動

しお昼を元町港近くの「か

あちゃん」食堂で。注文した



カラフルな高速ジェット船



集まっていた加入者のみなさんと工藤会長(右端)

伊豆大島編

「お刺身定食」に六つも小鉢がついていて大満足。

えっ、宮沢賢治のお見合い相手が大島に！

大島支部の教育

会館にご挨拶した

後、工藤会長から、

このすぐ近くに宮

沢賢治のお見合い

相手のお墓がある

といわれびっくり。

教育会館の周りは

ほとんど霊園で、

その中を案内していただきました。

大島には、かつて宮沢賢治も友人の伊藤

七雄の招待で農業教育のための学校を作

ろうと訪れました。そのときにつくられた

詩が「三原三部」で、航海の様子や島の土

壌の特徴などがうたわれています。霊園に

は伊藤七雄の妹で、宮沢賢治のお見合い

相手とも言われる女性のお墓があります。

夕方、仕事を終えてかけつけてくださった

のは、田辺俊介先生、白井いずみ先生、余語克

佳先生、南澤洋先生、横川崇先生の五人です。

工藤会長が、「大島にもサポーターの会

を広げ、共済加入を増やしていただきたい

い」と挨拶しました。

春は必ず自動車購入と

自動車保険が話題に

大島では毎年三月四月の異動の時期に、自動車保険契約の新規の加入が多い



みなさんに集まっていた支部の教育会館



全国の学校から見学者がくるという大島さくら小学校のユニークな校舎

のが特徴です。その理由を伺うと、島では移動手段として車が不可欠なため、必ず職場で話題になり、赴任するとすぐ管理職や事務職員の方が親切に車の購入や転任した方からの譲り受け、さらに自動車保険の紹介までしてくれるのだそうです。

都教組・都障教組

自動車保険はどこが違う？

都教組自動車保険もそれでご加入いただいたということもわかり、話題は事故のことに。

「加害事故の時に、桜保険が教職員の立場を理解して丁寧に対応してくれた。

被害者への賠償も保険会社が誠意をもって行ったために被害者も納得してくれて本当に助かった。」

この話をきっかけに次々に質問が出されました。

「都教組自動車保険は何が違うの？」

金子新委員長に聞く 教職員が生き生きと働ける職場へ



都教組 新委員長
金子 秀夫さん

話題の「真田丸」と河岸段丘で有名な群馬県沼田市出身。昭島・町田・世田谷などの中学校で理科の教員として勤務されました。昨年度までの三年間、都教組の副委員長と、都労連の副委員長を兼任。都との交渉を担当し、現場からの署名・集会・要請が要求実現につながる実感されたとのこと。

学校現場は、長時間過密労働が日常となり、人事考課の評価が賃金にも影響するトップダウンの体制で、パワハラも深刻な課題。課題解決のため、「少人数学級と教職員定数増をぜひ実現したい」。

教員時代、中学生が、ある先生について「何となくヒマそうなので話しやすい」と話す記事を読んでショックを受け、ノートに赤ペンを入れて

いた給食時間などには意識的に「何もしないでぼーっとする」時間を持つように。すると、子どもたちが話しかけてくるようになりました。ゆとりをもった対応が、子どもとの関係にも影響することを、身を以て経験されたと話されました。

以前、同僚のご親族が自動車事故の加害者となってしまった経験から、「桜保険の事故対応は、教職員の立場にたって迅速にきちんと対応してくれるという信頼感があります。自信をもって勧められることでは抜群ですから、より広げていかなくてはと思っています」。

組合と共済を一体に増やすことが、子どもと教育、くらしや平和を守ることにつながると、新委員長は穏やかながら力強い口調でお話されました。

島では仕事でも生活でも、自動車と保険は不可欠

との質問では、「被害者救済・加害者保護という立場から、保険金を払うだけでなく、教職員の身分にかかわるところまで全面的な対応を行っています。ここが大きな違いです。そのために教職員の立場と勤務実態を踏まえ保険会社と力を合わせ迅速丁寧な事故解決に心がけています」とご説明しました。

「臨採の先生は加入できるの」との質問では、「教職員であれば誰でも加入できます。もちろん退職者も」とご説明したところ、「じゃあ、うちの学校の臨採の先



熱心に話し合う参加者のみなさん



波浮の港の近くにある「渚百選」にも選ばれている筆島と海岸

※共済加入サポーターの会とは
共済や自動車保険等の加入をすすめるために、支部の役員や退職者の方々が、桜保険とも協力して説明会や学校訪問などをおこなう。今年六月に発足の会を開催し、工藤芳弘前都教組委員長が会長に就任。

生にすぐに声をかけて入ってもらおう。」
とうれしい反応もありました。

海と火山と星に惹かれて

最後に、大島の魅力についてお聞きしました。

「子どもと一緒にいられる時間が多く、教師としてもうれしい。」

「大島の海と火山と星に惹かれて大島に来たので、充実してます。」

「大島に来て一番の感動は天の川が見事に見えることです。」

「流星群もたくさん見えて子どもたちと観察するのも楽しいです。何と一時間に四十回も見つきました。」

「大島のおすすめスポットは、街灯でライトアップされた波浮の港です。」

「食べ物は何と言っても新鮮な魚の料理。」
などなど、

「ぜひ来てみてください。お待ちしております。」
とみなさん口をそろえてお話されました。

★ クイズの回答とともに200通を超える
 ☆ たくさんのご意見・ご感想をいただきました。
 ー ありがとうございます! ☆

車に乗っていると自転車が危ない
 と感じます。車道が狭いところを
 運転していて急に自転車がでて
 きたりするとドキリとします。こう
 した身近な問題を保険便りに載
 せていただくと参考になります。
 次回も楽しみにしております。
 (村上 弘子様)

表紙の写真がよい。車に乗って、
 どこかに行きたい気分になる。
 (伊藤 陽一郎様)

今回の特集、日本の現状と世界
 のとりくみよかったです。人にも
 自動車にもそして自転車にも優し
 い国であってほしいです。
 (福崎 栄子様)

今回、「自動車保険だより」が創
 刊され、そこに桜保険事務所の
 皆様の集合写真があったので、こ
 の人たちにお世話になったんだ
 なあとおひとりおひとり眺めてし
 まいました。「顔が見える」という
 修字句はコミュニケーションを語
 る際によくもちいられる言葉です
 が、本当に文字通り「顔が見え
 る」ことで、身近に感じられるもの
 だな…と改めて知らされました。
 (横内 克之様)

クイズの正解は「32」 応募総数は234通でした。

都教組・都障教組の役員の皆さんで厳
 正な抽選を行い、当選された100名の
 皆様に図書カードをお送りしました。



都教組の金子委員長



都障教組の板原書記長

今回のクイズはこちらです

今回の『自動車保険だより』表紙写真の
 撮影場所となった県はどこでしょうか。

*クイズおよび抽選の実施者は
 東京都教職員組合・東京都障害児学校教職員組合です。

- 応募締切: 2016年9月30日(金)当日消印有効
- 応募方法: 郵便ハガキに、クイズの答えと郵便番号・住所氏名・ご意見・ご感想を
 ご記入の上、下記の送付先までご応募ください。
- 抽選・発表: 正解者の中から厳正な抽選のうえ、当選者に図書カードを発送し、発表とかえさせていただきます。
- 注意事項: いただいたご意見を紙面に掲載させていただくときには氏名を表示させていただくことがあります。
 ※お客様の個人情報は厳重に管理し、賞品の抽選、発送、お問い合わせにのみ使用します。
- 送付先: 〒188-0011 東京都西東京市田無町3-2-17桜保険事務所気付
 自動車保険だより編集委員会「クイズ」係

ヒントは、
 カステラ・
 チャンポンが
 有名だよ。

100名様に
 1,000円分の
 図書カードを
 プレゼント!



投稿大募集

写真やイラストの投稿をお待ちしています。採用された方には謝礼
 (3,000円分の図書カード)をお送りします。



編集後記

新企画「加入者をたずねて」はいかがでしたでしょうか。
 今回訪れた大島は、サイクリングの場所としても人気があり、取材二日目からは
 全日本自転車競技選手権大会が開催されました。そのためかレンタカーの空
 きがなく、さがすのに苦労しました。その後も支部の教育会館を探して道に迷っ
 て霊園の周りを車でぐるぐるまわったり、昼食のお刺身の飾りのマツの実がと
 れていたのをグリーンピースと勘違いして食べてしまった人がいた
 り、お店のレジにひょっこり出てきたムカデに驚いたりという珍道中
 でした。大島支部の皆さんをはじめ、多くの方のご協力をいただい
 て、今号も無事発行することができました。感謝申し上げます。



桜保険ミニショット

今回は事務所全体の写真と、事故対応部の
 様子です。

毎月約百件の事故を扱い、直接ご契約者の
 ところへ打ち合わせにも伺います。



事故対応部



事務所全体

自動車保険だより編集委員会

TEL.042-467-4152 FAX.042-461-0366

自動車保険だよりVol.2 (2016年8月)

発行元/〒188-0011 東京都西東京市田無町3-2-17 桜保険事務所内